

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

2024 (令和6) 3月22日 / 第82号

私ども防犯防災部は風早北部地域住民目線で柏市防災行政のチェック役に徹します。
市長への提言を通じ柏市防災の改革・改善を目指します。

風早北部地域ふるさと協議会

向日葵はわが街のシンボル



防災行政に関する危機管理部長らとの 協議 / 意見交換を実施

令和5年12月18日に当会が柏市長に提示した風早北部地域住民からの防災に関する要望（本ニュース第76号で案内済み）につき、今年2月19日に、市の危機管理部長及び同部職員との協議を実施し、私ども※の要望に対する市の見解、対応につき回答を得ましたので、以下にその概要をご案内します。

※当会から会長、防犯防災部長、同副部長らが出席

議題1：柏市全体(広範囲)での一斉防災訓練の実現

《当会の要望内容：以下「当会」と記載》柏市地域防災計画が災害時に有効に機能するかを評価する上で、**市内広域を対象とした防災訓練の実施**が欠かせない。その実現と実現に向けた**市防災行政の業務体制見直しや職員の本庁舎集約型から各地域への分散配置**をお願いしたい。

《柏市の見解・回答：以下「柏市」と記載》柏市全体での防災訓練の必要性は感じている一方、現状規模の訓練にも相当の時間と人的労を費やしている。よって市全体の訓練や河川水害訓練など、毎年テーマごとに実施していく。市職員の図上訓練では、災害への万全の準備と実行力を行使できるよう訓練する。

勤務配置見直しの意見は、職員を短期、例えば1ヶ月に限定して勤務させるようなことは可能かもしれないが、一年間以上の期間で配置換えする体制を組むのは難しい。市全体の職員数も限られ、平常時は様々な業務を抱え、災害発生時は中核的な行動をする役割もあるため、だれもが各地域に赴き業務を遂行できるような実状にはない。

上記市回答への当会所感：市の姿勢は従前の訓練スタイルに工夫を加え踏襲していくようにもうかがえる一方、市全体での一斉訓練実現はまだまだとの印象。市職員が各地に寄り添う形の防災行政が大事であり、**現行の市防災行政業務の洗い直し**の下での**職員の各地域への常勤化なし**には、柏市の防災行政の改善は難しいと私どもは考える。引き続き勤務配置の見直しを市には要望して参りたい。

《当会》当風早北部地区防災担当市職員の当事者意識が必ずしも高くはない現状を危惧し、その点を統括責任の立場にある危機管理部(防災安全課)としてどう考え

るか。また市民の防災活動も、単に自主防災組織や防災会の組織率だけをもって計ることには疑問があり、**市として各団体の活動状況を把握されるべき**と考えるが如何であるか。

《柏市》地域の防災活動の実態については、防災講習会や訓練に参加することで意見や要望等をうかがっている。

上記市回答への当会所感：市の担当職員が自ら各地域へ積極的に赴き、防災活動の実態を把握するような姿勢や考えはうかがえなかった。残念ながら市職員が本件に積極的に関わることを回避するような言葉と受け止めた。私どもは、**本業務こそ市防災行政が積極的にとりくむべき最優先事項の一つ**と考え、彼らの現行業務の見直しを含め、引き続き本件の重要性を主張して参ります。

議題2：マイカーとマイテントを併用した市民避難方法の拡充

《当会》**避難所の狭隘(きょうあい)やペット同伴避難充実のため、マイカー&マイテント避難**を市民の分散避難の選択肢として市でも推奨いただきたい。

《柏市》マイカー避難は、災害発生時の道路渋滞を加速させる恐れもあり、緊急車両や支援物資運搬などで支障が生じることから、市としてこれを現時点で推奨することが難しい。

《当会》市内の地域ごとに環境や事情は異なる。当地域は根本的に避難場所が足りていない中、このマイカー・マイテント避難の選択肢があることが重要である。

上記市回答への当会所感：避難所狭隘の問題解消、感染症対策、まだまだ課題が多い市のペット同伴避難対策にも有効となる**マイカー、マイテント避難の拡充は欠かせないもの**と考え、今後も市が指摘する道路渋滞問題の当地域内での解消を図りながら引き続き要望して参りたい。

議題3：災害時に怪我をしない取組みの推進

《当会》災害時の緊急医療施設（トリアージ拠点）の設置の検討、進捗状況をうかがいたい。その下で、並行して大規模災害時に大怪我をしないことに取り組みの舵も切るべきでは？ 能登半島大地震で亡くなられた方、怪我をされた方の多くは60歳以上の高齢者である。こうした市民への対策として当会要望につき市としても検討して欲しい。

《柏市》緊急医療施設については、ようやく候補となり得る場所が見えてきたことは申しておきたい（具体的な内容はまだ公表できない）。

高齢者への家具転倒防止に関わる諸経費への補助金導入は、これ以外にも様々な補助金の新設要望が市民から寄せられている中、市では、費用が足りない市民や施策に瞬発力を与えるような効果のある補助金支出を優先していることをご理解願いたい（今回要望の本件はそれには合致していない）。一方、災害時に大怪我をしないための市民啓発は大切な事項であり、今後検討したい。

その他の発言（市の回答を求めない内容）

《当会》これは必ず近い将来の話となるが、市の発災時の避難施設にマイナンバー読み取り機を導入され、避難者の管理がデジタルでスムーズに行われるよう強く要望します。